

## (令和3年度単年度経営計画)

(公財)京都市埋蔵文化財研究所	令和3年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

## 基本事項

所管局課	文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課	本市出えん金	932,366 千円
基本財産/資本金	932,366 千円	本市出えん率	100.0 %

## 当年度の取組目標

業務面	<p>目標 「発掘調査事業収入の確保」</p> <p>長年にわたり培ってきた研究所独自の技術、実績等を積極的にアピールするとともに、文化財保護課等との連携を密に行うなど、民間企業の今後の事業予定等の情報を積極的に収集し、民間事業の契約件数の増加を目指していく。</p>
財務面	<p>目標 「発掘調査以外の受託事業の拡充」</p> <p>長年にわたり培ってきた研究所独自の技術、ノウハウである写真撮影、測量、保存処理技術を最大限に活用し、他団体からの写真撮影、測量、保存処理の受託事業の拡充を図るなど、受託事業の新規獲得に努めていく。</p>
組織面	<p>目標 1 「京都市からの派遣職員の役員就任の解消」</p> <p>長期借入金の返済を確実に実施していくためには、経営の長期安定化に向けた新たな組織体制を構築する必要がある。</p> <p>また、当研究所の将来的な在り方と京都市の埋蔵文化財保護行政の関係について、京都市担当部署（文化財保護課）と協議を重ねているが、その結論が出ていないため、引き続き、協議をする必要がある。</p> <p>このため、令和3年度についても、派遣職員の役員就任を継続し、市関係部局、埋蔵文化財研究所関係者、関係団体等との調整を行っていく。</p> <p>目標 2 「経営の安定化に向けた組織体制のスリム化」</p> <p>経費の多くを占める人件費削減に向けて、今後の発掘調査の事業量が増加しないことを前提にした適正な人員体制とすべく、退職者不補充により、段階的に職員を削減する。</p>
その他	特になし

## 当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>発掘調査事業については、公共事業を確実に受託するよう努めるとともに、景気の動向に影響を受ける民間事業においても情報を積極的に収集し、目標値を達成できるよう計画的な事業の推進に取り組まれない。</p> <p>また、これまで蓄積してきた技術力を維持・継承できるよう、人材の確保と育成に努められるとともに、支出の削減にも注力し、一層の経営の安定化にも取り組まれない。</p>
-----	---

## 当年度の取組目標に対する総括(※)

団体	<p>令和3年度は、発掘調査事業収益及び受託事業収益とも前年度を上回った。また、職員の退職に合わせ新規職員を3名採用したが、嘱託化を進めるなど組織体制のスリム化を進め、固定費となる人件費削減に努めた。これにより、収支は26,910千円の黒字となり、前年度に引き続き、2年連続の黒字となった。発掘調査については、公共事業の受託が堅調なこともあり、民間事業の収入額は前年を下回った。</p>
所管局	<p>民間事業の収入額は前年を下回ったものの、人件費削減など経営健全化を図るとともに、効率的な業務執行に努めた結果、発掘調査事業収益及び受託事業収益とも前年度を上回り、2年連続の黒字となったことは評価できる。</p> <p>発掘調査事業においては、今後も公共事業の縮減が見込まれることから、引き続き民間事業の積極的な確保に努めるとともに、更なる経営の効率化に努めていただきたい。</p>

## (令和3年度単年度経営計画)

(公財)京都市埋蔵文化財研究所	令和3年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

## (1)業務に関する取組

目標「発掘調査事業収入の確保」	
当年度目標	長年にわたり培ってきた研究所独自の技術、実績等を積極的にアピールするとともに、文化財保護課等との連携を密に行うなど、民間企業の今後の事業予定等の情報を積極的に収集し、民間事業の契約件数の増加を目指していく。
当年度結果 (※)	発掘調査事業収益全体としては、公共事業の受託が堅調なこともあり、前年度を上回る実績を確保できたが、民間事業については目標を下回った。

指標2	民間事業契約金額 (単位：百万円)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	200	281	200	146	200	150	200	44

## (2)財務に関する取組

主要財務数値 (単位：千円)							備考欄
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	
経常収益	553,606	512,075	556,671	593,523	533,445	620,287	
経常費用	553,606	559,799	556,671	572,927	533,445	593,377	
当期経常増減額	0	△ 47,724	0	20,596	0	26,910	
当期正味財産増減額	0	△ 47,724	0	56,733	0	26,910	
資産合計	-	1,419,371	-	1,426,256	-	1,410,446	
負債合計	-	933,809	-	883,960	-	841,240	
正味財産	-	485,562	-	542,296	-	569,206	

目標「発掘調査以外の受託事業の拡充」	
当年度目標	長年にわたり培ってきた研究所独自の技術、ノウハウである写真撮影、測量、保存処理技術を最大限に活用し、他団体からの写真撮影、測量、保存処理の受託事業の拡充を図るなど、受託事業の新規獲得に努めていく。
当年度結果 (※)	区役所との連携事業による普及啓発事業を受託するとともに、収蔵庫の空調設備改善事業等を京都市から受託し、昨年度を上回る実績となった。

指標	発掘調査事業以外の受託金額 (単位：百万円)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	176	185	178	168	178	175	178	192

## (公財)京都市埋蔵文化財研究所

令和3年度経営計画  
兼 経営努力結果

## (3)組織に関する取組

## 目標1「京都市からの派遣職員の役員就任の解消」

当年度目標	<p>長期借入金の返済を確実に実施していくためには、経営の長期安定化に向けた新たな組織体制を構築する必要がある。</p> <p>また、当研究所の将来的な在り方と京都市の埋蔵文化財保護行政の関係について、京都市担当部署（文化財保護課）と協議を重ねているが、その結論が出ていないため、引き続き、協議をする必要がある。</p> <p>このため、令和3年度についても、派遣職員の役員就任を継続し、市関係部局、埋蔵文化財研究所関係者、関係団体等との調整を行っていく。</p>
当年度結果 (※)	令和3年度末をもって、京都市からの派遣職員の役員就任の解消を図った。

指標	京都市からの派遣職員の役員就任数 (単位：人)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	1	1	1	1	1	1	1	1

## 目標2「経営の安定化に向けた組織体制のスリム化」

当年度目標	<p>経費の多くを占める人件費削減に向けて、今後の発掘調査の事業量が増加しないことを前提にした適正な人員体制とすべく、退職者不補充により、段階的に職員を削減する。</p>
当年度結果 (※)	これまで研究所が培ってきた技術、ノウハウを継承し世代交代を進めるため、新規職員3人を採用したが、退職等による減員により計画どおり全体で1人を削減した。

指標	職員の削減数 (単位：人)							
目標と実績	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	\	0	\	2	\	2	1	1